

令和7年度学生生活に関するアンケート調査結果

- ・ 調査の目的 本学で学ぶ学生の学生生活の充実向上を図る
- ・ 調査実施日 令和7年9月24日～10月24日
- ・ 調査対象 全学生 2,122人(学部生 1,980人、院生 142人)
- ・ 調査方法 Google フォームを使った Web 回答
- ・ アンケート回答率

	対象者数(人)	回答者数(人)	R7回答率	R6回答率
学部生	1,980人	1,317人	66.5%(+24.1%)	42.4%
院生	142人	71人	50.0%(± 0.0%)	50.0%
計	2,122人	1,388人	65.4%(+22.5%)	42.9%

アンケート結果は次のとおり

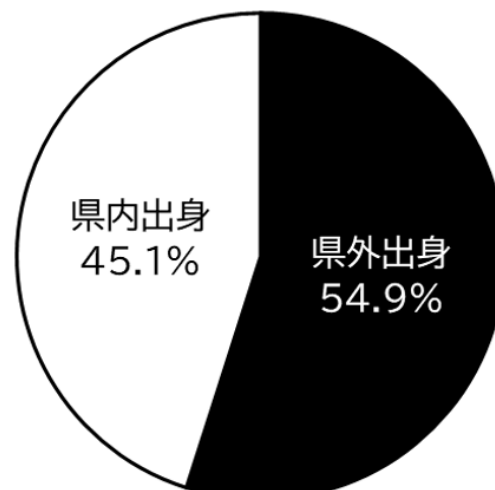
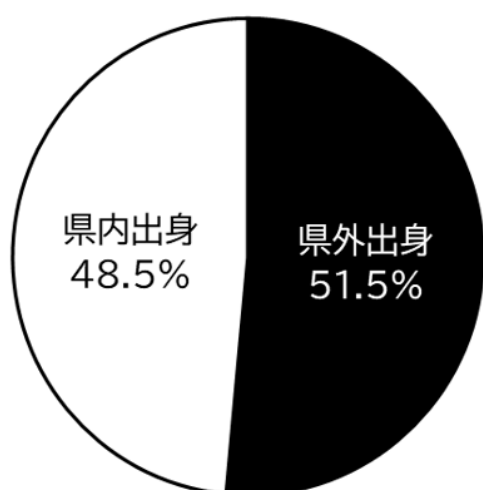
1 回答者の属性

- ・学部生、院生ともに県外、県内の比率はほぼ1:1である。
- ・学部生は、現住所が永平寺町の学生が多く、院生は、現住所が福井市の学生が多い。
- ・学部生の自宅外生は全体の約6割である。

出身

学部生 1,317名

院生 71名



現住所

学部生 1,317 名

現住所	割合
永平寺町	28.7%
福井市	24.7%
坂井市	17.5%
小浜市	9.2%
越前市	4.6%
鯖江市	4.3%
あわら市	2.7%
県外	2.7%
勝山市	1.7%
大野市	1.1%
越前町	1.1%
敦賀市	0.9%
その他県内市町	0.8%
計	100%

院生 71 名

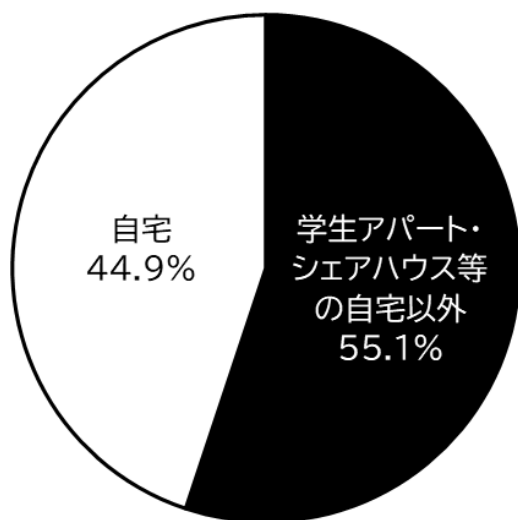
現住所	割合
福井市	25.4%
坂井市	18.3%
小浜市	12.7%
永平寺町	12.7%
県外	9.9%
あわら市	5.6%
大野市	4.2%
鯖江市	2.8%
越前市	2.8%
越前町	2.8%
勝山市	1.4%
南越前町	1.4%
その他県内市町	
計	100%

学部生の現住所(学科別)

学部生 1,317 名

	1位		2位		3位	
	市町名	割合	市町名	割合	市町名	割合
経済	福井市	30.3%	永平寺町	27.2%	坂井市	19.9%
経営	福井市	33.3%	永平寺町	27.2%	坂井市	15.7%
生物	永平寺町	42.7%	福井市	29.0%	坂井市	11.3%
創農	福井市	36.4%	坂井市	32.5%	あわら市	14.3%
海洋	小浜市	59.5%	永平寺町	21.4%	坂井市	7.6%
養殖	小浜市	60.9%	永平寺町	24.6%	福井市	7.2%
看護	坂井市	25.9%	永平寺町	25.2%	福井市	23.8%
社福	福井市	26.6%	坂井市(同率)	24.5%	永平寺町(同率)	24.5%
恐竜	永平寺町	57.1%	福井市(同率)	14.3%	坂井市(同率)	14.3%

学部生の住居形態
学部生 1,317 名



学部生の住居形態(学科別)
学部生 1,317 名

	自 宅		学生アパート・シェアハウス等の自宅以外	
	R7	R6	R7	R6
計	44.9%	48.1%	55.1%	51.9%
経済	54.1%	54.0%	45.9%	46.0%
経営	55.6%	59.3%	44.4%	40.7%
生物	36.3%	34.1%	63.7%	65.9%
創農	29.9%	51.0%	70.1%	49.0%
海洋	14.5%	15.6%	85.5%	84.4%
養殖	15.9%	10.8%	84.1%	89.2%
看護	55.9%	60.9%	44.1%	39.1%
社福	52.1%	56.5%	47.9%	43.5%
恐竜	25.0%	—	75.0%	—

2-1 入学前後に関する調査(学部生)－設問 1～3関係

- ・学部1年生における志願する大学の情報の集め方は、多い順に、「大学ホームページ」、「高校教員のアドバイス」、「大学案内」、「オープンキャンパス」である。
- ・学部1年生のうち県内出身学生の本学に入学した主な理由は、多い順に「地元または地元になかったから」、「興味の持てる専門分野があったから」、「公立大学だったから」、である。
- ・学部1年生のうち県外出身学生の本学に入学した主な理由は、多い順に「興味の持てる専門分野があったから」、「公立大学だったから」、「受験学力相応だったから」である。
- ・学部生の入学後に感じた本学の魅力は、多い順に「施設・設備が整っている」、「学生生活を支援するしくみが整っている」、「カリキュラムや教育の内容が優れている」である。

志願大学の情報の集め方(複数回答)

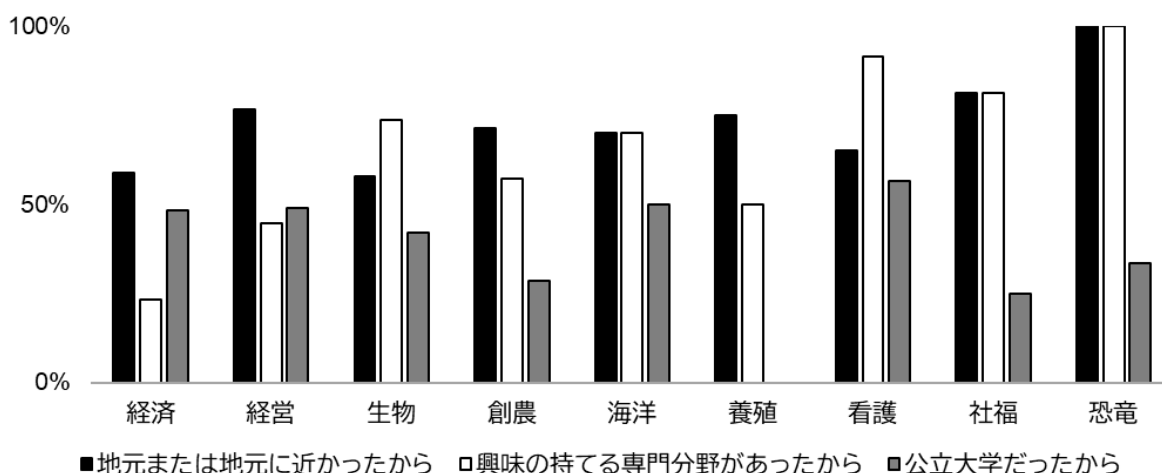
学部1年生 418名(うち回答者 413名)、回答数 955件

	実人数	大学ホームページ		高校教員のアドバイス		大学案内		オープンキャンパス	
		R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6
計	413	46.2%	44.1%	41.6%	44.5%	36.6%	39.3%	30.3%	24.6%
経済	89	37.1%	43.1%	46.1%	43.1%	29.2%	42.4%	25.8%	38.5%
経営	94	41.5%	38.2%	45.7%	44.1%	36.2%	44.1%	31.9%	27.9%
生物	42	45.2%	51.5%	42.9%	42.4%	35.7%	36.4%	31.0%	27.3%
創農	20	70.0%	46.2%	40.0%	38.5%	40.0%	23.1%	20.0%	30.8%
海洋	46	34.8%	39.3%	56.5%	46.4%	34.8%	46.4%	23.9%	25.0%
養殖	26	50.0%	47.1%	23.1%	41.2%	34.6%	29.4%	19.2%	23.5%
看護	42	57.1%	52.9%	40.5%	58.8%	45.2%	52.9%	31.0%	35.3%
社福	26	57.7%	50.0%	34.6%	45.8%	34.6%	33.3%	61.5%	25.0%
恐竜	28	64.3%	—	14.3%	—	53.6%	—	35.7%	—

※コロナ前の令和元年度の調査では、志望大学の情報の集め方は多い順に「高校教員のアドバイス(27.5%)」、「大学ホームページ(26.5%)」、「オープンキャンパス(17.3%)」、「受験雑誌(9.3%)」である。ただし、回答方法は複数回答ではなく、単一回答である。

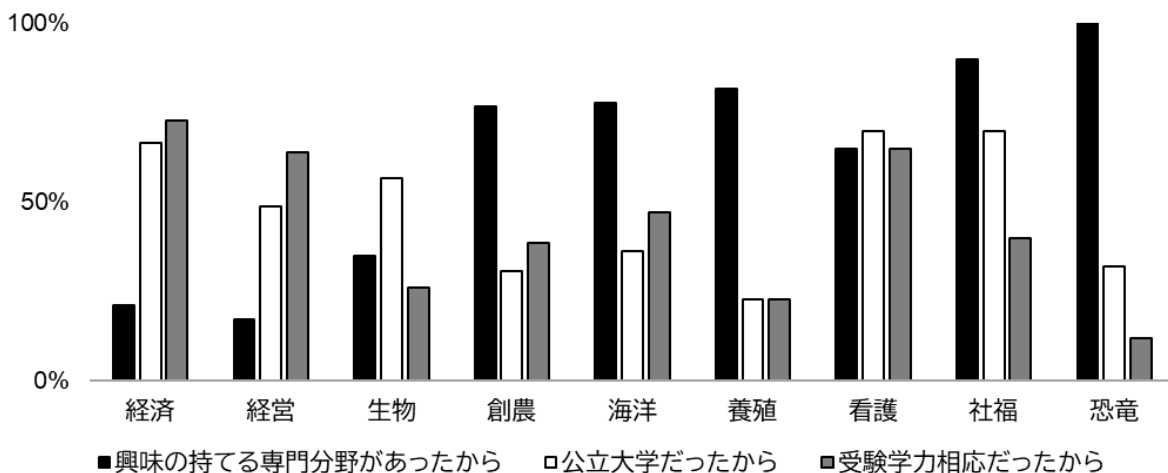
本学に入学した主な理由(複数回答)

県内出身学生(県内出身の学部1年生187名(うち回答者185名)、回答数557件)



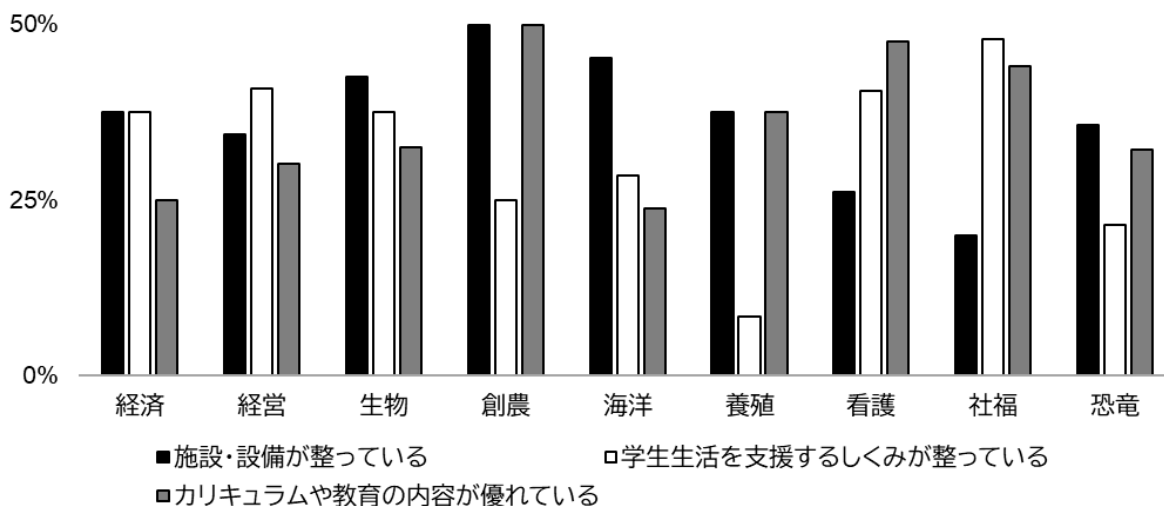
	実人数	入学理由第1位		入学理由第2位		入学理由第3位	
		地元または地元に近いから		興味のある専門分野があったから		公立大学だったから	
		R7	R6	R7	R6	R7	R6
計	185	68.1%	67.8%	53.0%	40.4%	44.9%	54.8%
経済	56	58.9%	66.7%	23.2%	25.6%	48.2%	59.0%
経営	47	76.6%	65.1%	44.7%	30.2%	48.9%	60.5%
生物	19	57.9%	57.1%	73.7%	50.0%	42.1%	57.1%
創農	7	71.4%	66.7%	57.1%	33.3%	28.6%	16.7%
海洋	10	70.0%	100%	70.0%	57.1%	50.0%	14.3%
養殖	4	75.0%	60.0%	50.0%	100%		
看護	23	65.2%	66.7%	91.3%	53.3%	56.5%	80.0%
社福	16	81.3%	76.5%	81.3%	58.8%	25.0%	52.9%
恐竜	3	100%	—	100%	—	33.3%	—

県外出身学生(県外出身の学部1年生 231名(うち回答者 229名)、回答数 485件)



	実人数	入学理由第1位 興味の手てる専門分野があったから		入学理由第2位 公立大学だったから		入学理由第3位 受験学力相応だったから	
		R7	R6	R7	R6	R7	R6
計	229	55.0%	48.4%	47.6%	50.0%	46.7%	49.2%
経済	33	21.2%	9.1%	66.7%	39.4%	72.7%	57.6%
経営	47	17.0%	28.0%	48.9%	60.0%	63.8%	56.0%
生物	23	34.8%	52.6%	56.5%	52.6%	26.1%	36.8%
創農	13	76.9%	71.4%	30.8%	57.1%	38.5%	42.9%
海洋	36	77.8%	90.5%	36.1%	52.4%	47.2%	47.6%
養殖	22	81.8%	100%	22.7%	41.7%	22.7%	25.0%
看護	20	65.0%	50.0%	70.0%	—	65.0%	100%
社福	10	90.0%	57.1%	70.0%	71.4%	40.0%	57.1%
恐竜	25	100%	—	32.0%	—	12.0%	—

入学後に感じた本学の魅力(複数回答)



学部1年生 418名(うち回答者 394名)、回答数 701件

	実人数	本学の魅力第1位		本学の魅力第2位		本学の魅力第3位	
		施設・設備が整っている		学生生活を支援するしくみが整っている		カリキュラムや教育の内容が優れている	
		R7	R6	R7	R6	R7	R6
計	394	36.3%	34.2%	34.8%	29.2%	33.0%	29.4%
経済	80	37.5%	29.2%	37.5%	22.1%	25.0%	15.3%
経営	93	34.4%	30.9%	40.9%	9.1%	30.1%	33.8%
生物	40	42.5%	45.5%	37.5%	30.8%	32.5%	33.3%
創農	20	50.0%	38.5%	25.0%	28.6%	50.0%	46.2%
海洋	42	45.2%	46.4%	28.6%	29.4%	23.8%	39.3%
養殖	24	37.5%	52.9%	8.3%	41.2%	37.5%	23.5%
看護	42	26.2%	23.5%	40.5%	33.3%	47.6%	47.1%
社福	25	20.0%	20.8%	48.0%	26.1%	44.0%	25.0%
恐竜	28	35.7%	—	21.4%	—	32.1%	—

※第4位は「魅力ある教員がいる(32.0%)」R6調査では全体第2位(30.9%)

2-2 入学前後に関する調査(院生)－設問 7、8 関係

・院生の本学に入学した主な理由は、多い順に「専門分野の知識を深めたかった」、「研究内容に魅力を感じた」、「本学学部を卒業したから」である。順位は昨年度(令和6年度)同じである。

・院生の研究における研究の満足度は、「満足している」、「やや満足している」の合計が全体の約9割である。うち「満足している」は 50.7%(昨年度から△7.5%)、「不満足である」は 1.4%(△1.6%)である。

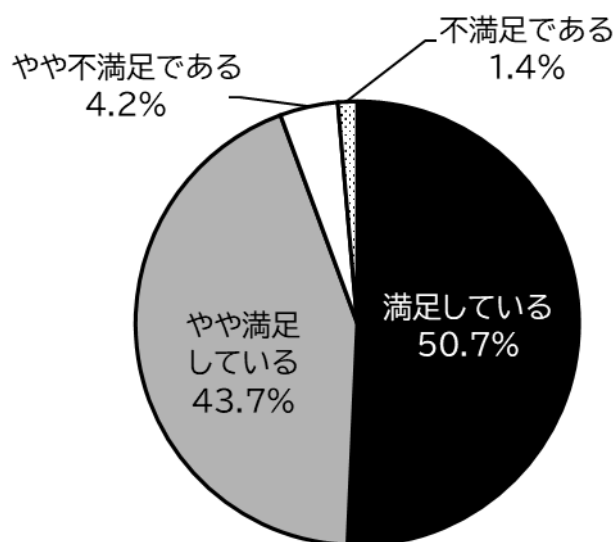
院生における本学に入学した主な理由(複数回答)

院生 71 名、回答数 121 件

	入学理由第1位		入学理由第2位		入学理由第3位	
	専門分野の知識を深めたかった		研究内容に魅力を感じた		本学学部を卒業したから	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6
計	76.1%	77.6%	54.9%	58.2%	19.7%	26.9%

院生における研究環境の満足度

院生 71 名



3 学部生の学業状況について－設問4～6関係

・学部生の1日あたりの平均勉強時間は「1時間未満」が最も多い。
 ・学部生の学業面における相談相手は、多い順に「友人」、「先輩」、「授業担当教員」、「家族」である。いずれの学科も「友人」が最も多い。

1日あたり平均で授業の予習・復習やレポート等の宿題にかかる時間(試験期間中を除く)

学部生 1,317名

	人数	1時間未満		1時間～2時間		2時間～3時間		3時間～4時間		4時間以上	
		R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6
計	1,317	46.5%	46.9%	37.9%	38.3%	10.2%	11.8%	3.6%	2.1%	1.7%	0.9%
経済	327	48.3%	51.3%	39.4%	38.5%	10.1%	9.3%	1.5%	0.9%	0.6%	
経営	324	51.5%	46.6%	38.3%	40.7%	7.1%	9.5%	2.2%	2.1%	0.9%	1.1%
生物	124	33.9%	37.8%	48.4%	43.9%	10.5%	13.4%	4.8%	2.4%	2.4%	2.4%
創農	77	51.9%	69.4%	39.0%	22.4%	7.8%	4.1%	1.3%	4.1%		
海洋	131	52.7%	40.3%	33.6%	37.7%	6.9%	20.8%	6.1%	1.3%	0.8%	
養殖	69	39.1%	48.6%	36.2%	32.4%	13.0%	16.2%	1.3%	2.7%	7.2%	
看護	143	35.0%	27.5%	35.7%	43.5%	14.7%	18.8%	9.1%	5.8%	5.6%	4.3%
社福	94	50.0%	53.6%	24.5%	34.8%	19.1%	10.1%	5.3%	1.4%	1.1%	
恐竜	28	46.4%	—	46.4%	—	7.1%	—		—		—

学業面における相談相手(複数回答)

学部生 1,317名、回答数 2,295件

	実人数	友人		先輩		授業担当教員		家族	
		R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6
計	1,317	78.6%	—	27.2%	—	24.3%	23.6%	23.8%	—
経済	327	77.1%	—	23.5%	—	16.8%	18.6%	21.7%	—
経営	324	78.1%	—	33.6%	—	20.7%	15.3%	21.3%	—
生物	124	75.8%	—	29.0%	—	28.2%	28.0%	22.6%	—
創農	77	80.5%	—	20.8%	—	33.8%	34.7%	13.0%	—
海洋	131	79.4%	—	26.7%	—	27.5%	35.1%	19.1%	—
養殖	69	73.9%	—	26.1%	—	36.2%	43.2%	27.5%	—
看護	143	85.3%	—	25.9%	—	23.1%	23.2%	35.0%	—
社福	94	78.7%	—	28.7%	—	34.0%	26.1%	30.9%	—
恐竜	28	82.1%	—	10.7%	—	39.3%	—	46.4%	—

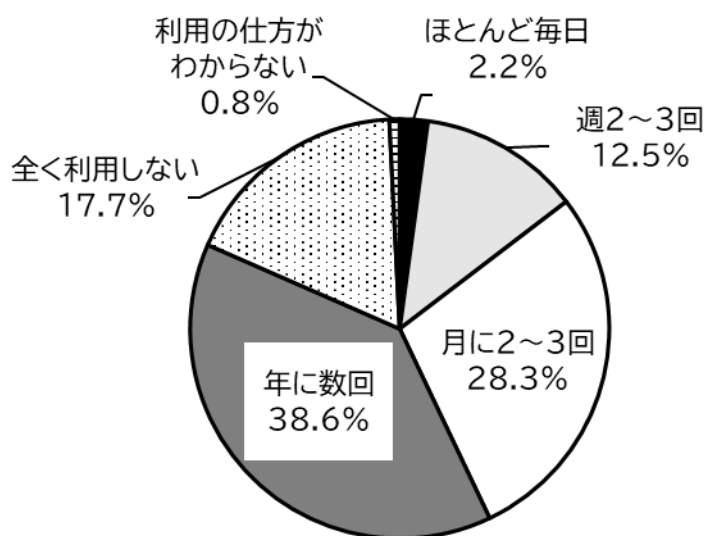
※昨年度調査では「家族・先輩・友人」で一項目(83.3%)、今年度調査の「家族・先輩・友人」の合計は84.7%

4 図書館について—設問9~11関係

- ・学生の図書館の利用割合は約8割であり、利用頻度は「年に数回程度利用」が最も多い。
- ・図書館の開館時間について、学生の約8割が「このままでよい」と回答した（昨年度調査から△5.4%）
- ・学生の図書館の利用目的は、多い順に「課題の調査・作成」、「授業の予習・復習」、「図書の閲覧・貸出」である。

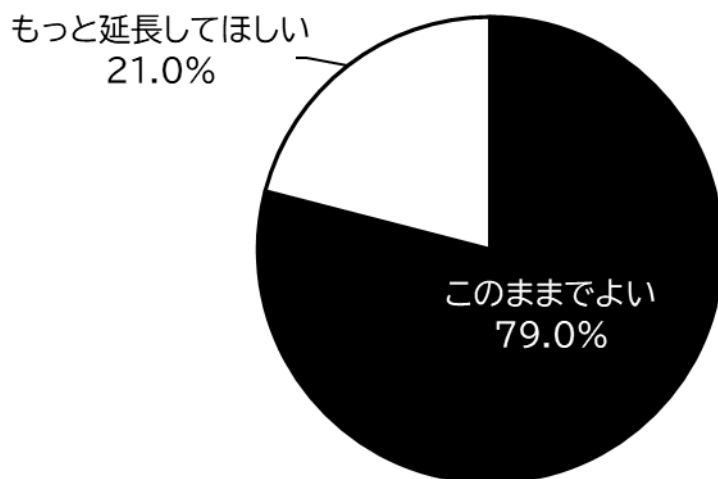
図書館の利用頻度

学部生、院生 1,388 名



図書館の開館時間

学部生、院生 1,388 名



図書館の利用目的(複数回答)

図書館を利用する学部生、院生 1,132 名(うち回答者 1,096 名)、回答数 1,880 件

	R7	R6
課題の調査・作成	58.5%	56.5%
授業の予習・復習	41.1%	36.2%
図書の閲覧・貸出	35.9%	48.0%
資格試験等の自習	25.2%	20.8%
雑誌の閲覧・コピー	5.2%	5.6%
データベース・オンラインジャーナルの利用	2.6%	3.0%
文献調査等の相談	2.2%	2.3%
その他	1.0%	2.3%

5-1 学生生活について(全般)－設問 12～15関係

- ・学生が大学生生活で最も重視していることは、学部生は多い順に「勉強や研究」、「豊かな人間関係を結ぶこと」、「趣味・娯楽」、院生は多い順に「勉強や研究」、「豊かな人間関係を結ぶこと」、「将来を考えた資格等の取得」である。
- ・学生生活に「満足している」、「まあまあ満足している」の合計は、学部生 92.2%(昨年度調査から $\Delta 0.2\%$)、院生 91.5%(+3.4%)である。
- ・学生生活に「満足している」、「まあまあ満足している」理由について、回答した学部生の約 7 割が、「対人関係が良好である」ためと回答した。
- ・学生生活に「満足している」、「まあまあ満足している」理由について、回答した院生の約5割が、「教員との交流に恵まれている」ためと回答した。
- ・学生生活に「やや不満足」、「不満足である」の合計が学部生 7.8%(昨年度調査から+0.1%)、院生 8.5%($\Delta 3.5\%$)である。
- ・学生生活に「やや不満足」、「不満足である」理由について、回答した学部生の約5割が、「対人関係に不満がある」ためと回答した。
- ・学生生活に「やや不満足」、「不満足である」理由について、回答した院生の約7割が、「教育環境、施設整備に不満がある」ためと回答した。

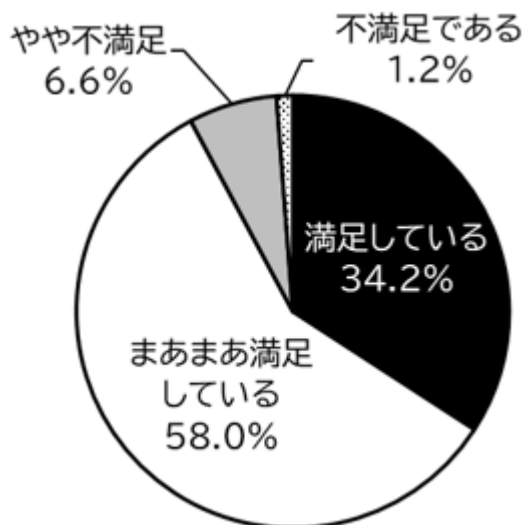
大学生生活で最も重視していること(複数回答)

学部生 1,317 名、回答数件 3,074 件、院生 71 名、回答数 118 件

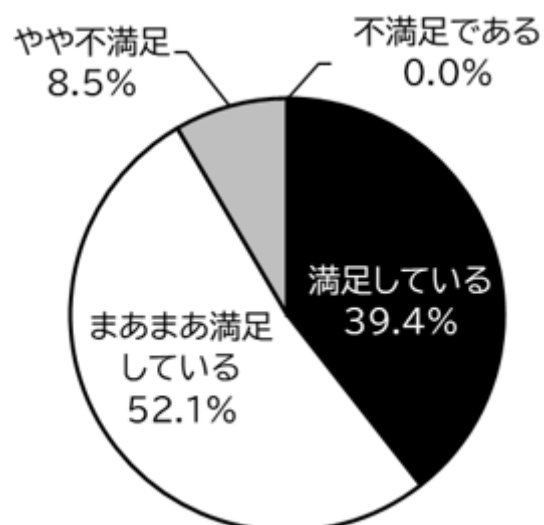
	学部生		院生	
第 1 位	勉強や研究	62.8%	勉強や研究	93.0%
第 2 位	豊かな人間関係を結ぶこと	43.3%	豊かな人間関係を結ぶこと	21.1%
第 3 位	趣味・娯楽	40.5%	将来を考えた資格等の取得	18.3%

学生生活に満足しているかどうか

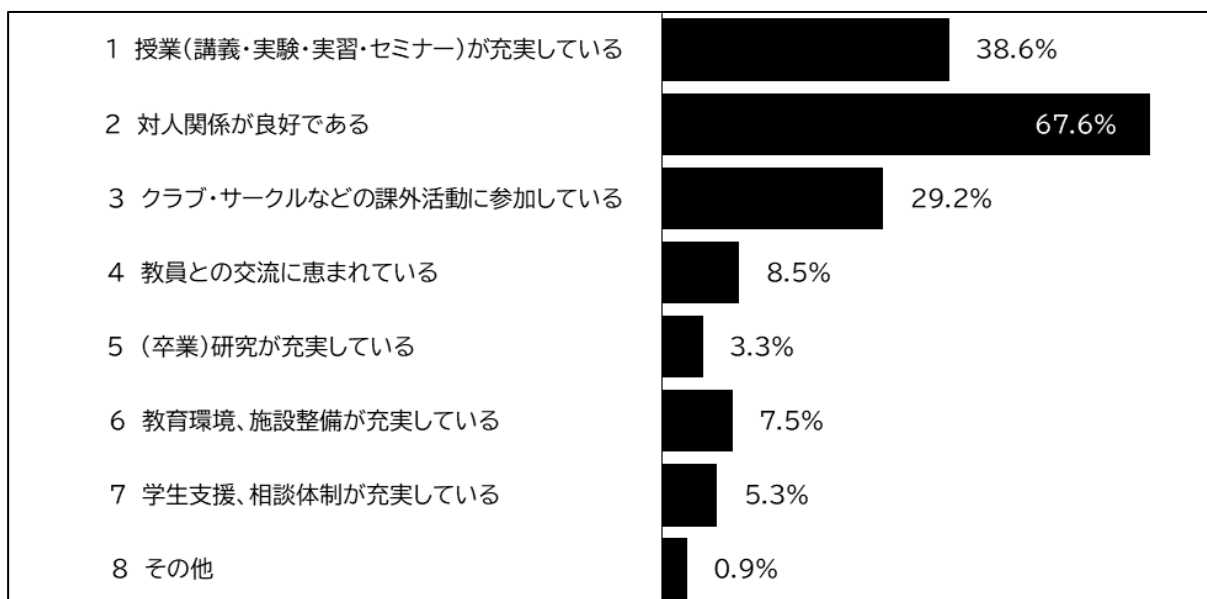
学部生 1,317 名



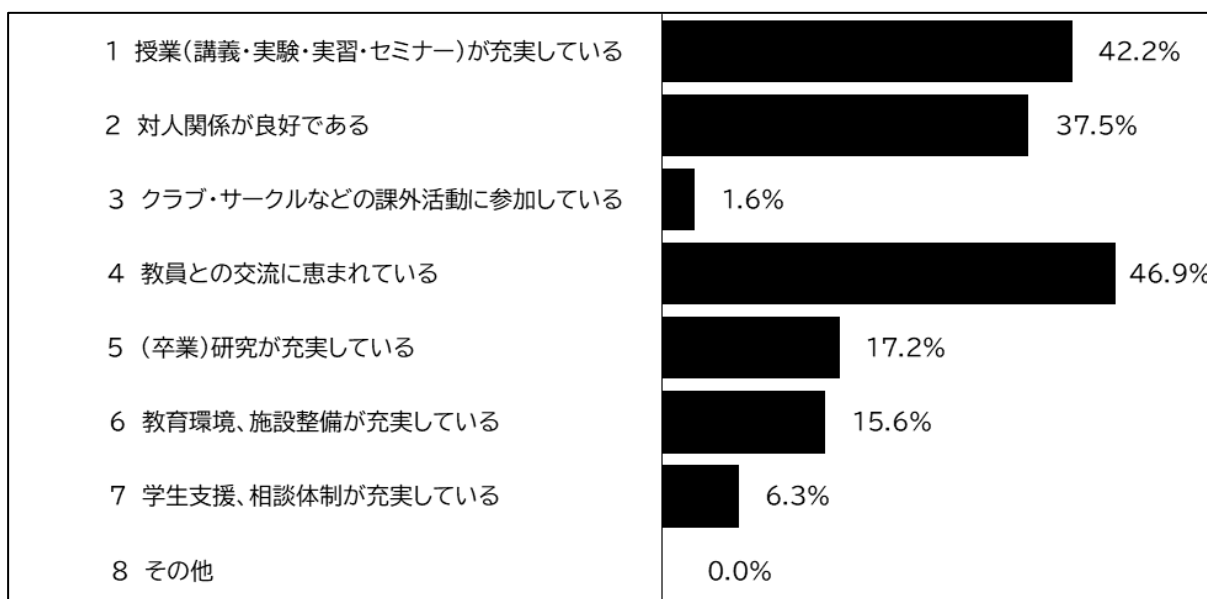
院生 71 名



「満足している」「まあまあ満足している」と回答した学生の満足している理由(複数回答)
 学部生 1,214 名 回答数 1,919 件

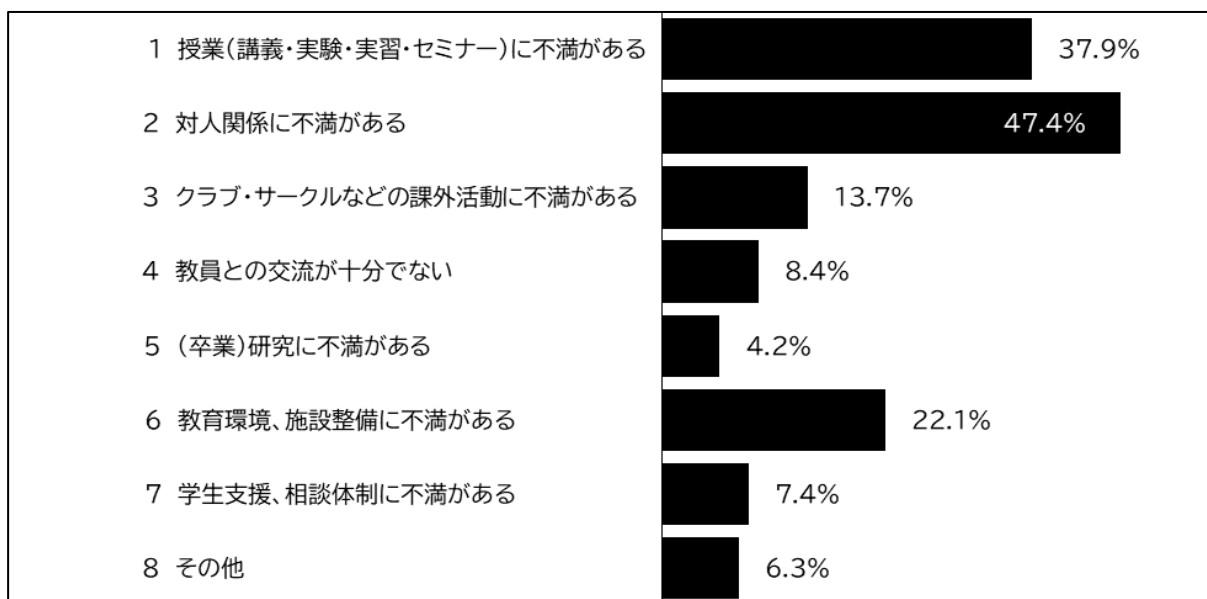


院生 65 名 回答数 104 件

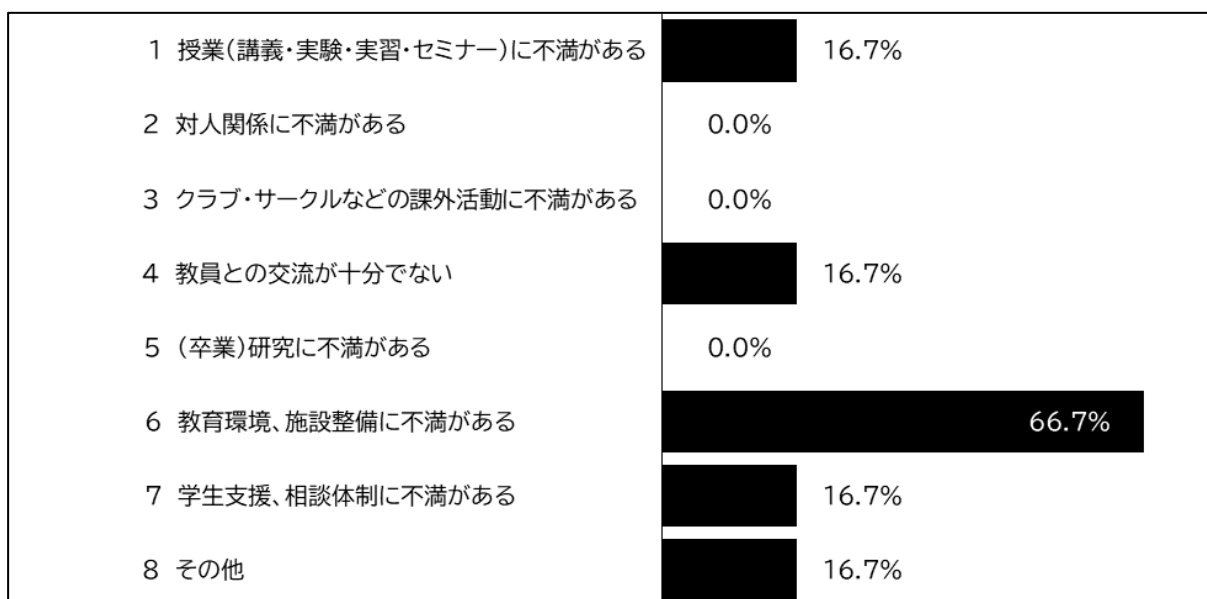


「不満足である」「やや不満足」と回答した学生の満足していない理由(複数回答)

学部生 103 名 回答数 140 件



院生6名 回答数8件



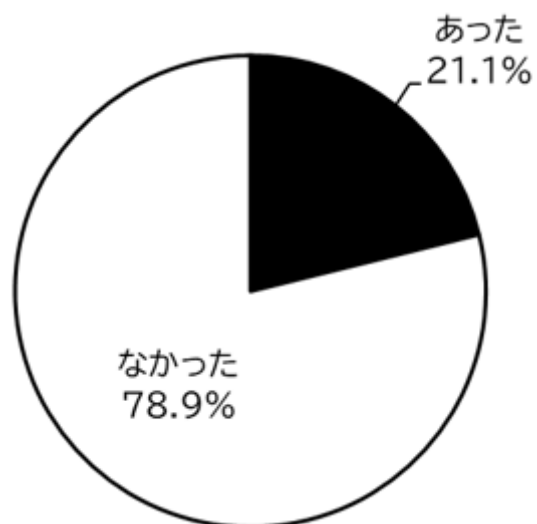
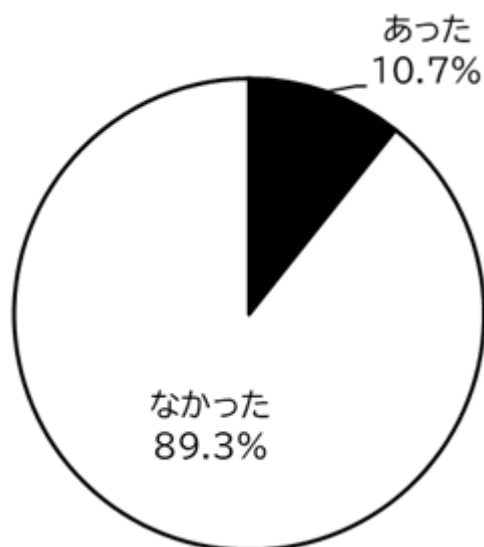
5-2 学生生活について(大学での手続き)－設問 16、17関係

・大学入学後、手続きの方法や窓口がわからず困ったことがあるかどうかについて「あった」と回答した学部生は 10.7%(昨年度調査から△0.2%)、院生は 21.1%(+7.7%)である。

大学入学後、手続きの方法や窓口がわからず困ったこと

学部生 1,317 名

院生 71 名

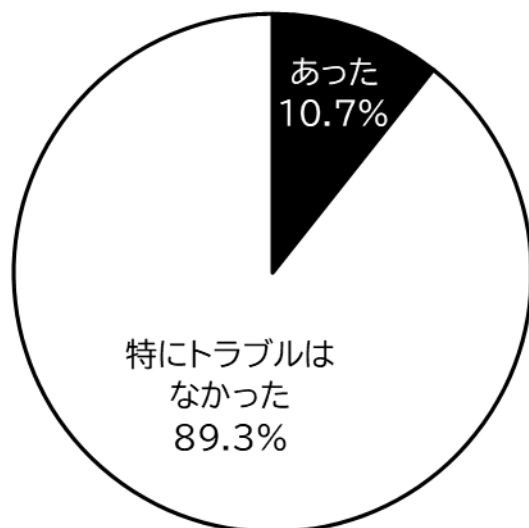


5-3 学生生活について(トラブルとの遭遇)－設問 18 関係

・トラブルとの遭遇について「トラブルにあった」学生は 10.7%(昨年度調査から△3.8%)である。

・トラブルの内容は多い順に「住居(自宅以外)の支障(騒音、水漏れ等)」、「自動車・バイク・自転車の盗難、損壊被害」、「不審者による声かけ」である。

トラブルとの遭遇について
学部生、院生 1,388 名



トラブルにあったと回答した学生のトラブルの内容(複数回答)

トラブルにあったと回答した学生 148 名、回答数 165 件

トラブルの内容	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
住居(自宅以外)の支障(騒音、水漏れ等)	2.9%	1.7%	1.6%	1.5%	0.9%	0.8%	0.6%	0.6%	0.5%	0.3%	0.1%	0.4%
自動車・バイク・自転車の盗難、損壊被害	5.4%	2.5%	1.4%	1.4%	1.0%	0.7%	0.6%	1.7%	0.2%	1.3%	0.2%	0.5%
鞆・服・靴・傘等の盗難被害												
カルト宗教等の勧誘												
シフトの強要や賃金未払いなどアルバイト先とのトラブル												
携帯電話・スマートフォン、インターネット通信に関するトラブル被害												
財布・現金等の盗難被害												
不審者による声かけ												
悪質商法(キャッチセールスやマルチ商法など)												
暴力、ハラスメント												
SNSやネットによる中傷などの被害												
その他												

6 設備について—設問 19、20 関係

充実してほしい設備(複数回答)

永平寺キャンパス(永平寺キャンパスの学部生、院生 1,200 名、回答数 2,357 件)

第 1 位	休憩・談話のための控え室・談話室 (理由)昼食時に座れる場所がない、冷暖房が効いた部屋がほしい など	33.2%
第 2 位	ない (理由)概ね満足している など	32.7%
第 3 位	トイレ (理由)洋式を増やしてほしい、暖房便座がほしい、古い、汚い など	25.5%
第 4 位	福利厚生施設(食堂・売店など) (理由)食堂のメニューを増やしてほしい、営業時間が短い、売店の値段が高い など	25.2%

その他自由意見:講義室の椅子の修理、冷暖房の効いた自習室、学部棟の印刷室、Wi-Fi 環境が弱い、弓道場、テニスコート整備、街灯の増加 など

小浜キャンパス(小浜キャンパスの学部生、院生 112名、回答数 245 件)

第 1 位	福利厚生施設(食堂・売店など) (理由)軽食や文房具を買うための売店がほしい など	39.3%
第 2 位	駐輪・駐車場 (理由)駐車できる台数が少ない、白線が薄い など	31.3%
第 3 位	ない (理由)特になし、不満足な点はない など	26.8%
第 4 位	休憩・談話のための控え室・談話室 (理由)研究室以外に談話できる場所や休日でも利用できる自習室がほしい など	23.2%

その他自由意見:給水機、実験用の備品、BBQ 場 など

あわらキャンパス(あわらキャンパスの学部生、院生 48 名、回答数 112 件)

第 1 位	福利厚生施設(食堂・売店など) (理由)学食や弁当を販売してほしい、売店がほしい など	39.6%
第 2 位 (同率)	休憩・談話のための控え室・談話室 (理由)更衣室がほしい、空きコマに時間をつぶせる場所がほしい など	31.3%
第 2 位 (同率)	トイレ (理由)夏暑くて冬寒い など	31.3%
第 4 位	ない (理由)満足している	18.8%

その他自由意見:ジム(ウエイト器具)、冷暖房設備(廊下との温度差がひどい) など

かつみキャンパス(かつみキャンパスの学部生、院生 26 名、回答数 56 件)

第 1 位	駐輪・駐車場 (理由)駐車スペースが不足している など	50.0%
第 2 位	福利厚生施設(食堂・売店など) (理由)付近に飲食施設やコンビニがないため、食堂や売店がほしい など	42.3%
第 3 位	実験室 (理由) 臨海研究センターに新たに分属された学生のデスクが足りない など	19.2%
第 4 位	休憩・談話のための控え室・談話室 (理由) プライベート空間がない学生貸出用の鍵に通用口の鍵をつけてほしい など	19.2%

その他自由意見:ジム など

7 通学について－設問 21、22関係

主な通学方法、通学時間

- ・いずれのキャンパスも「自動車(自分で運転)」で通学している学部生が最も多い。
- ・永平寺キャンパスで最も多い通学方法と通学時間は、「自動車(自分で運転)」、「15分未満」である。
- ・小浜キャンパスで最も多い通学方法と通学時間は、「自動車(自分で運転)」、「15分未満」である。
- ・あわらキャンパスで最も多い通学方法と通学時間は、「自動車(自分で運転)」、「30分以上1時間未満」である。
- ・かつみキャンパスで最も多い通学方法と通学時間は、「自動車(自分で運転)」、「15分以上 30分未満」である。

永平寺キャンパス(永平寺キャンパスの学部生 1,143 名)

	全体	15分未満	15分以上	30分以上	1時間以上	1時間半以上	2時間以上
自動車(自分で運転)	60.5%	22.1%	14.1%	17.2%	5.9%	1.0%	0.1%
自転車	15.1%	11.1%	3.4%	0.5%			0.1%
徒歩	14.4%	12.5%	1.5%	0.4%			
バス	4.1%	0.3%	1.3%	1.6%	0.5%	0.3%	
家族等の車に同乗	2.2%	0.6%	0.8%	0.4%	0.3%		0.1%
JR※	1.5%		0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.7%
ハピラインふくい※	1.3%			0.1%	0.3%	0.5%	0.3%
バイク	0.5%	0.3%	0.2%	0.1%			
えちぜん鉄道・福井鉄道※	0.3%			0.2%	0.2%		

※バスや他の鉄道との併用を含む

小浜キャンパス(小浜キャンパスの学部生 107 名)

	全体	15分未満	15分以上	30分以上	1時間以上	1時間半以上	2時間以上
自動車(自分で運転)	86.0%	74.8%	7.5%	1.9%	0.9%	0.9%	
自転車	5.6%	3.7%	0.9%	0.9%			
徒歩	4.7%		1.9%	1.9%	0.9%		
家族等の車に同乗	2.8%	1.9%	0.9%				
バイク	0.9%	0.9%					

あわらキャンパス(あわらキャンパスの学部生 45 名)

	全体	15分未満	15分以上	30分以上	1時間以上	1時間半以上	2時間以上
自動車(自分で運転)	86.7%	20.0%	20.0%	37.8%	8.9%		
自転車	6.7%	4.4%	2.2%				
家族等の車に同乗	4.4%			4.4%			
バス	2.2%			2.2%			

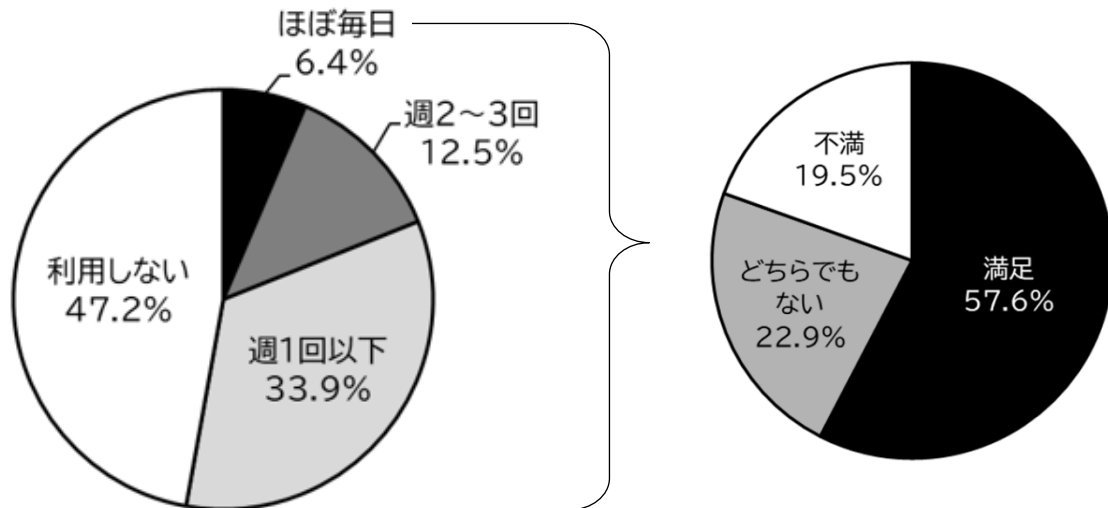
かつみキャンパス(かつみキャンパスの学部生 22 名)

	全体	15 分未満	15分以上	30分以上	1時間以上	1時間半以上	2時間以上
自動車(自分で運転)	95.5%	18.2%	72.7%		4.5%		
バイク	4.5%		4.5%				

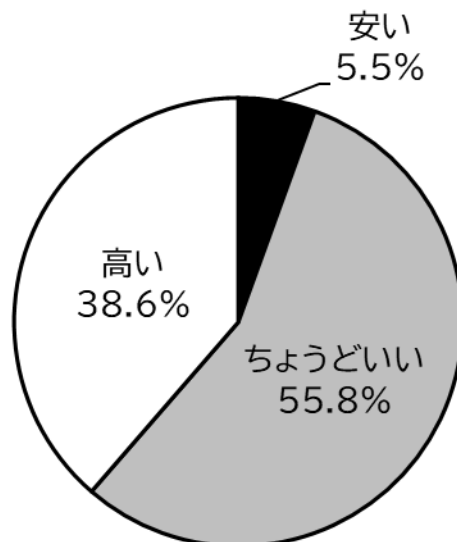
8-1 県大レストラン、売店について(永平寺キャンパス県大レストラン)－設問 23関係

- ・永平寺キャンパス県大レストランを利用する学生は全体の 52.8% (昨年度調査から Δ 0.9%) である。
- ・利用する学生のうち約6割が「満足」と回答した(+5.1%)。
- ・現在の値段設定に約 6 割が「安い」「ちょうどいい」と回答した(Δ 0.8%)。

永平寺キャンパス県大レストランの利用頻度および満足度
永平寺キャンパスの学部生 1,143 名(うち回答者 1,124 名)



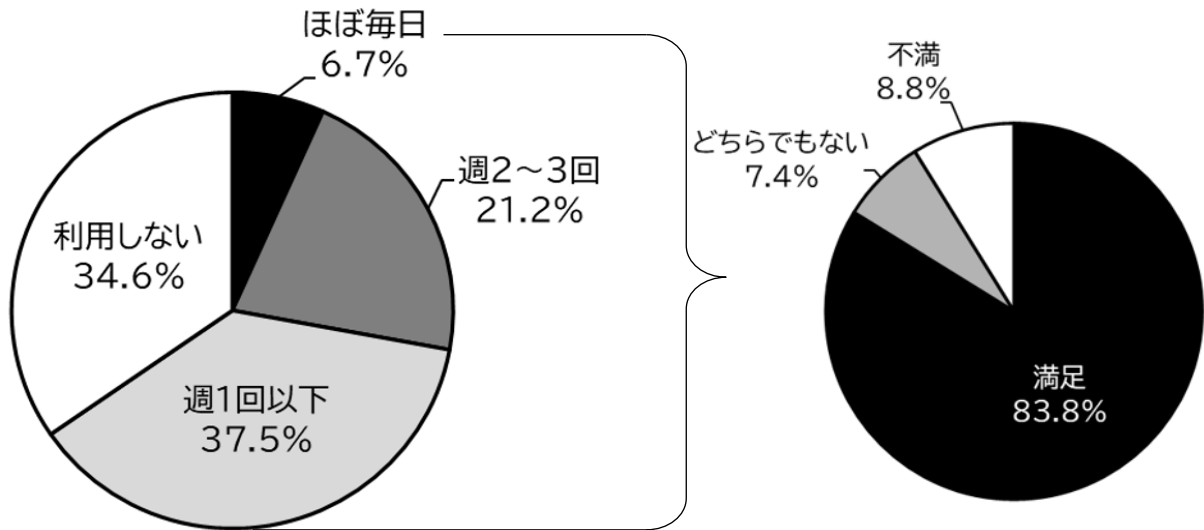
永平寺キャンパス県大レストランの値段
永平寺キャンパスの学部生 1,143 名(うち回答者 994 名)



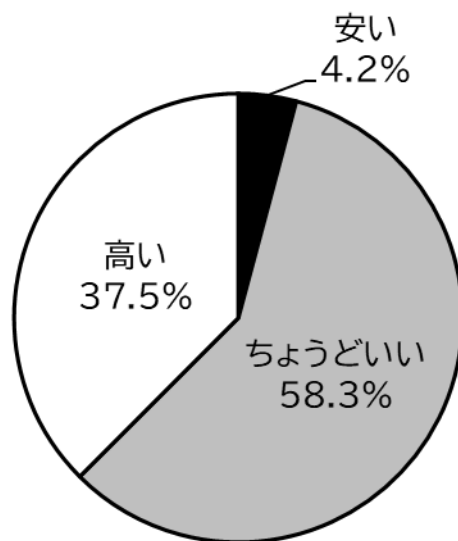
8-2 県大レストラン、売店について(小浜キャンパス県大レストラン)－設問 23関係

- ・小浜キャンパス県大レストランを利用する学生は全体の 65.1%(昨年度調査から△8.0%)である。
- ・利用する学生のうち約8割が「満足」と回答した(+12.9%)。
- ・現在の値段設定に約 6 割が「安い」「ちょうどいい」と回答した(△13.3%)。

小浜キャンパス県大レストランの利用頻度および満足度
小浜キャンパスの学部生 107 名(うち回答者 104 名)



小浜キャンパス県大レストランの値段
小浜キャンパスの学部生 107 名(うち回答者 96 名)

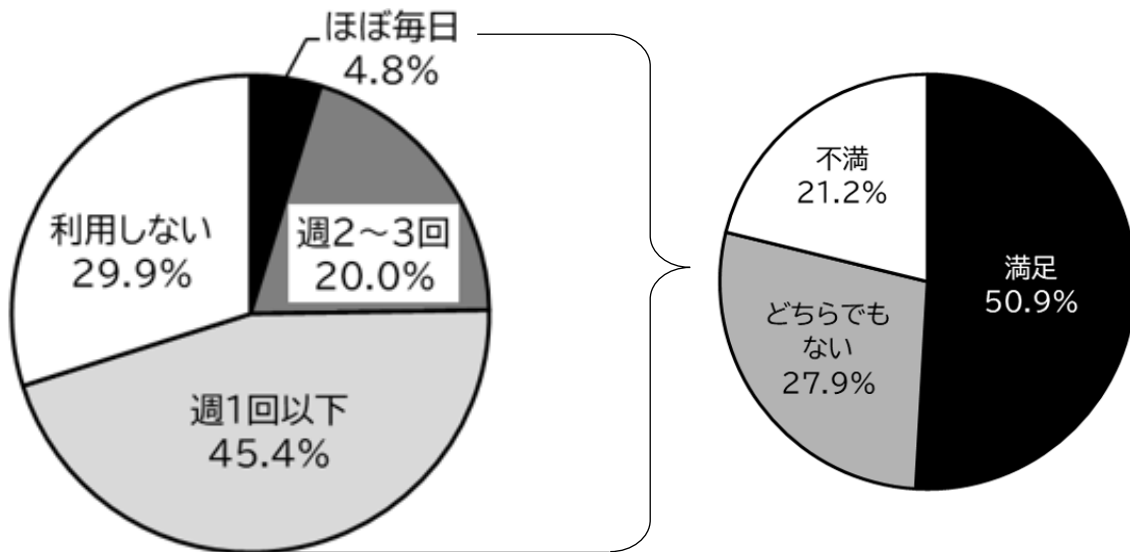


8-3 県大レストラン、売店について(永平寺キャンパス売店)－設問 24関係

- ・永平寺キャンパス売店を利用する学生は全体の70.1%(昨年度調査から Δ 12.5%)である。
- ・利用する学生のうち約5割が「満足」と回答した(+0.3%)。
- ・現在の値段設定に約5割が「安い」「ちょうどいい」と回答した(Δ 6.9%)。

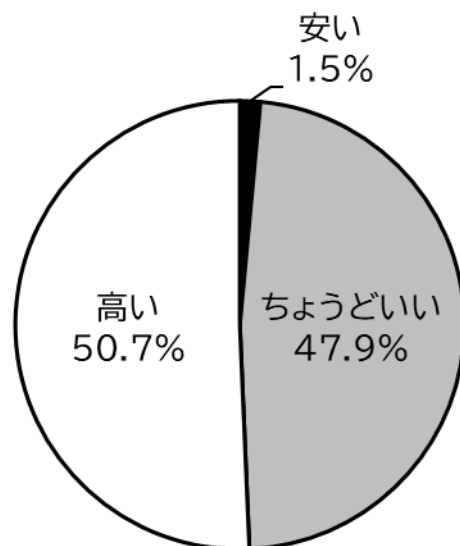
永平寺キャンパス売店の利用頻度および満足度

永平寺キャンパスの学部生 1,143 名(うち回答者 1,111 名)



永平寺キャンパス売店の値段

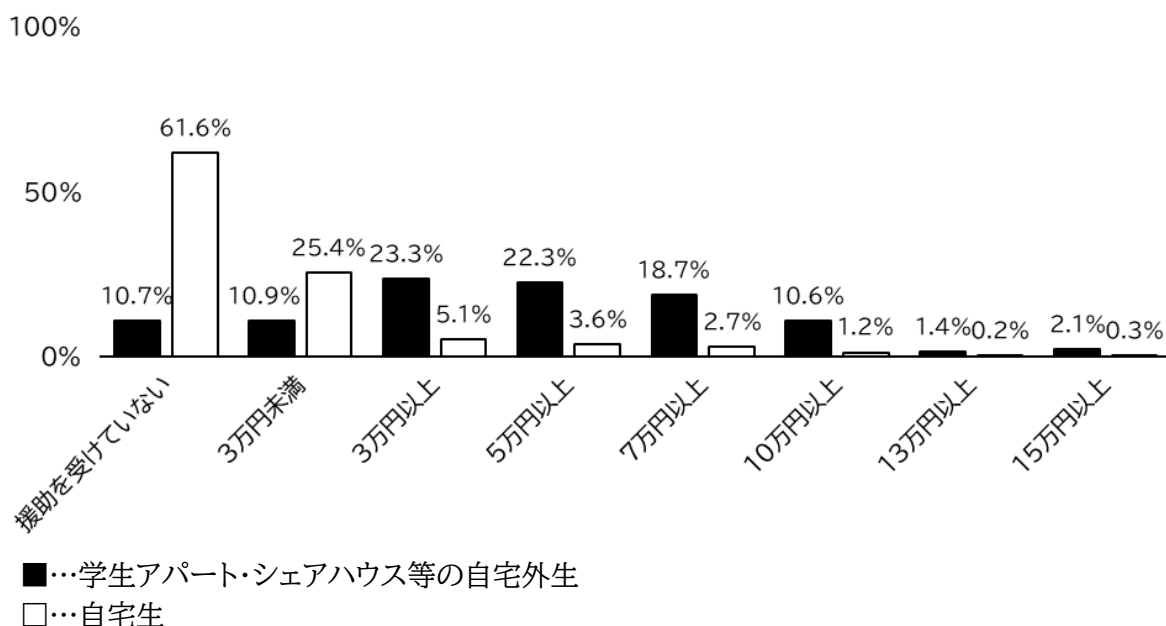
永平寺キャンパスの学部生 1,143 名(うち回答者 957 名)



9-1 経済的事項について(全般)―設問 25、26 関係

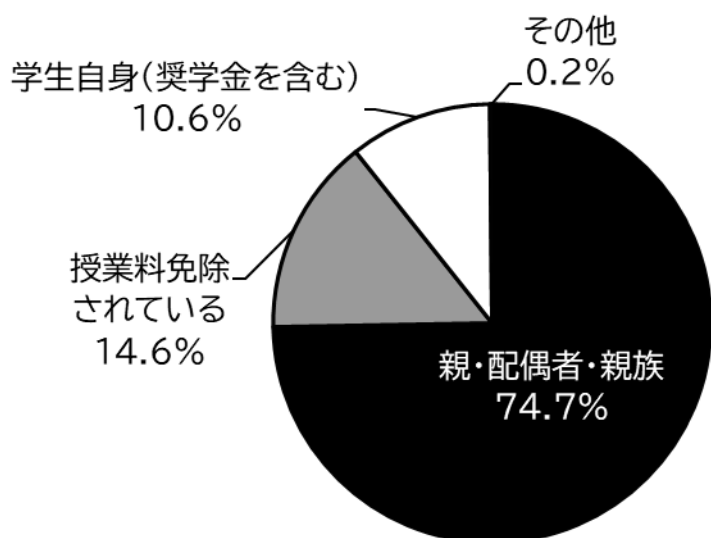
・学部生の家族からの1ヶ月あたりの経済的援助について、自宅外生は「3万円以上5万円未満」が最も多く、自宅生は「援助を受けていない」が最も多い。
 ・院生の家族からの1ヶ月あたりの経済的援助について、自宅外生は「援助を受けていない」、「5万円以上7万円未満」が最も多く、自宅生は「援助を受けていない」が最も多い。
 ・授業料は「学生自身(奨学金を含む)」が負担していると答えた者は、学部生が約1割(昨年度調査から△0.1%)、院生が約6割(+5.4%)である。

学部生の1ヶ月あたりの家族からの援助(家賃は含み、授業料その他学校納付金は除く)
 学部生 1,317名 うち学生アパート・シェアハウス等の自宅外生 726名、自宅生 591名



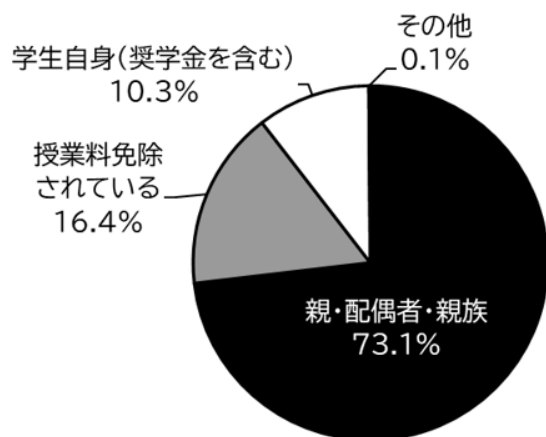
学部生の授業料負担者

学部生 1,317名

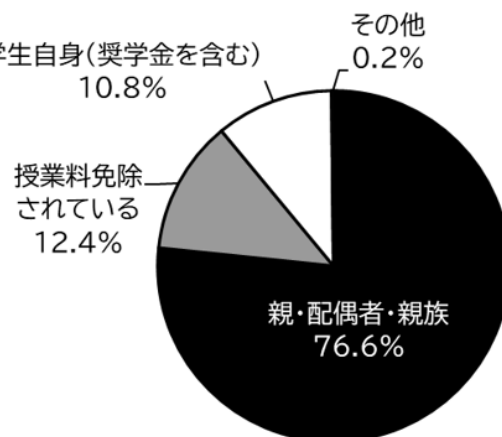


(参考)

学生アパート・シェアハウス等の自宅外生 726 名

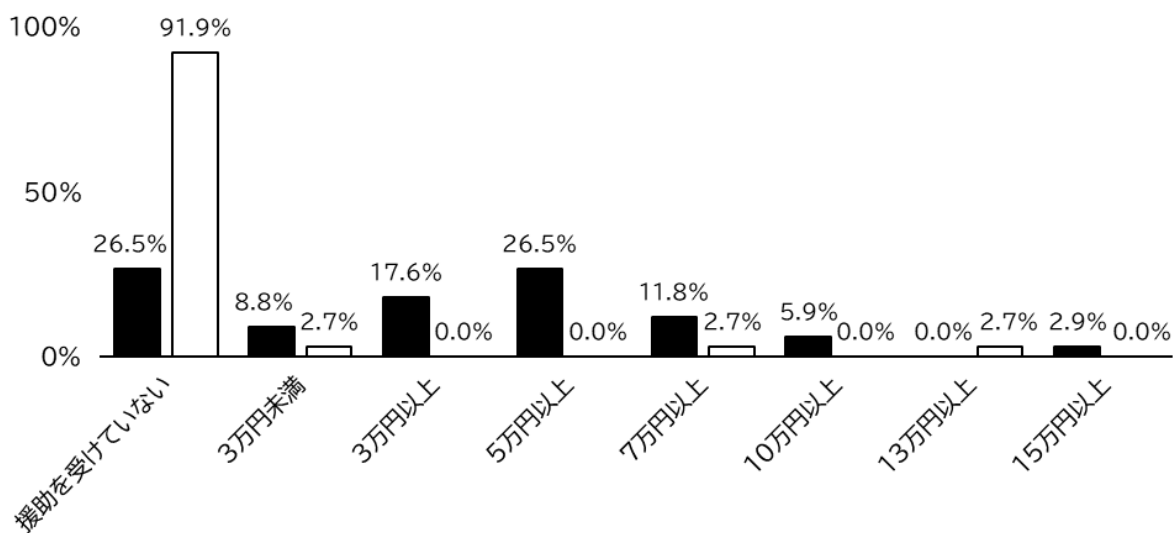


自宅生 591 名



院生の1ヶ月あたりの家族からの援助(家賃は含み、授業料その他学校納付金は除く)

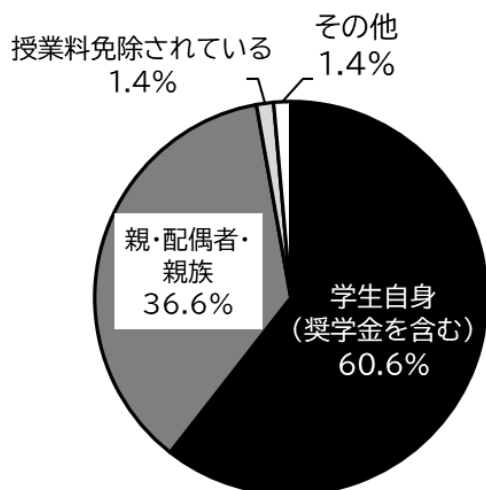
院生 71 名 うち学生アパート・シェアハウス等の自宅外生 34 名、自宅生 37 名



■…学生アパート・シェアハウス等の自宅外生
□…自宅生

院生の授業料負担者

院生 71 名



9-2 学部生の経済的事項について(アルバイト)－設問27～31 関係

- ・学部生のアルバイト状況において、頻度と時間は「週 3～4 日」の「10時間以上20時間未満」が最も多く、金額は「5万円以上7万円未満」が多い。
- ・アルバイトの職種は多い順に「レジや店頭販売などの販売業務」、「飲食店の接客業務」、「家庭教師・塾講師等の教育関連業務」である。
- ・アルバイトの目的は多い順に、「課外活動費・教養・娯楽・交際費のため」、「生活費・学費のため」、「交友関係を広げるため、社会勉強のため」である。

学部生のアルバイト状況－頻度と時間

学部生 1,317 名(うちアルバイトをしている学部生 1,133 名)

	10時間未満	10時間以上	20時間以上	30時間以上	無回答	計
週5日以上	0.4%	1.9%	2.8%	0.8%	0.1%	6.1%
週3～4日	6.5%	39.5%	10.7%	1.0%	1.1%	58.8%
週1～2日	13.4%	12.7%	0.5%	0.3%	0.2%	27.1%
月2～3日程度	2.4%	0.9%			0.3%	3.5%
月1日程度	0.3%	0.2%	0.1%			0.5%
年に数回程度	0.1%				0.9%	1.0%
長期休暇中のみ	0.4%				2.6%	3.0%
計	23.5%	55.2%	14.1%	2.0%	5.2%	100%

学部生のアルバイト状況－頻度と金額

アルバイトをしている学部生 1,133 名

	3万円未満	3万円以上	5万円以上	7万円以上	10万円以上	無回答	計
週5日以上	0.3%	0.2%	1.3%	3.0%	1.1%	0.2%	6.1%
週3～4日	1.1%	12.1%	23.2%	17.4%	3.3%	1.7%	58.8%
週1～2日	7.0%	12.4%	5.6%	1.5%	0.1%	0.4%	27.1%
月2～3日程度	1.9%	1.0%	0.4%	0.1%		0.2%	3.5%
月1日程度	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%			0.5%
年に数回程度	0.8%	0.1%				0.1%	1.0%
長期休暇中のみ	0.6%	0.3%	0.4%	0.2%	0.5%	1.0%	3.0%
計	11.9%	26.1%	31.2%	22.2%	5.0%	3.5%	100%

学部生がしているアルバイトの職種(複数回答)

アルバイトをしている学部生 1,133 名、回答数 1,359 件

第1位	飲食店の接客業務	51.2%
第2位	レジや店頭販売などの販売業務	45.1%
第3位	家庭教師・塾講師等の教育関連業務	8.3%
第4位	配達、工事現場などの軽作業・軽労働等の労務	4.9%
第5位	事務・データ入力	2.6%

学部生のアルバイトをする目的(複数回答)

アルバイトをしている学部生 1,133 名、回答数 1,790 件

第1位	課外活動費・教養・娯楽・交際費のため	72.3%
第2位	生活費・学費のため	55.8%
第3位	交友関係を広げるため、社会勉強のため	21.1%
第4位	耐久消費財(車・電気製品など)の購入のため	6.2%
第5位	海外留学・就職活動などにむけた貯蓄のため	3.3%

9-3 学部生の経済的事項について(1ヶ月の支出)－設問 32 関係

- ・学部生の1ヶ月にかかる通学費は、自宅外生、自宅生ともに「1万円未満」が最も多い。
- ・学部生の1ヶ月にかかる食費は、自宅外生は「2万円以上 3万円未満」、自宅生は「1万円以上 2万円未満」が最も多い。
- ・自宅外の学部生の1ヶ月にかかる家賃は「6万円以上 10万円未満」が最も多い。

学部生の1ヶ月の平均支出額 - 通学費

学部生 1,317 名 うち永平寺 1,143 名、小浜・かつみ 107 名、あわら 45 名、かつみ 22 名
 自宅外生 55%、自宅生 45%(3 ページ参照)

	支出なし	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上
永平寺	16.9%	47.5%	17.8%	3.3%	0.7%	0.6%
自宅外	11.6%	27.9%	4.3%	0.5%	0.1%	0.2%
自宅	5.2%	19.6%	13.6%	2.8%	0.6%	0.5%
小浜	1.3%	5.8%	0.8%	0.1%	0.1%	0.1%
自宅外	0.9%	5.0%	0.8%	0.1%	0.1%	0.1%
自宅	0.4%	0.8%				
あわら	0.3%	1.3%	1.4%	0.4%		
自宅外	0.3%	0.9%	0.8%	0.3%		
自宅		0.4%	0.6%	0.1%		
かつみ	0.1%	0.8%	0.4%	0.3%	0.1%	
自宅外	0.1%	0.8%	0.2%	0.2%	0.1%	
自宅			0.2%	0.2%		
計	18.5%	55.5%	20.4%	4.0%	0.8%	0.7%

学部生の1ヶ月の平均支出額 - 食費(外食費・食事付き下宿の食事代を含む)

学部生 1,317名 うち永平寺 1,143名、小浜・かつみ 107名、あわら 45名、かつみ 22名
 自宅外生 55%、自宅生 45%(3ページ参照)

	支出なし	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上
永平寺	8.6%	19.1%	26.0%	21.7%	8.5%	2.9%
自宅外	4.1%	2.2%	12.4%	16.3%	6.9%	2.6%
自宅	4.5%	16.9%	13.6%	5.4%	1.6%	0.3%
小浜	0.8%	0.6%	2.7%	2.0%	0.9%	1.1%
自宅外	0.5%	0.2%	2.3%	1.9%	0.9%	1.1%
自宅	0.3%	0.4%	0.4%	0.1%		0.1%
あわら	0.4%	0.4%	1.3%	0.6%	0.5%	0.2%
自宅外	0.3%		0.9%	0.5%	0.5%	0.2%
自宅	0.1%	0.4%	0.4%	0.2%	0.1%	
かつみ	0.2%	0.1%	0.3%	0.7%	0.2%	0.2%
自宅外	0.1%		0.2%	0.7%	0.2%	0.2%
自宅	0.1%	0.1%	0.2%			
計	9.9%	20.2%	30.2%	25.0%	10.2%	4.5%

学部生の1ヶ月の平均支出額 - 家賃(光熱水費・共益費・駐車場代を含む)

学生アパート・シェアハウス等の学部自宅外生 726名

うち永平寺 586名、小浜・かつみ 91名、あわら 31名、かつみ 18名

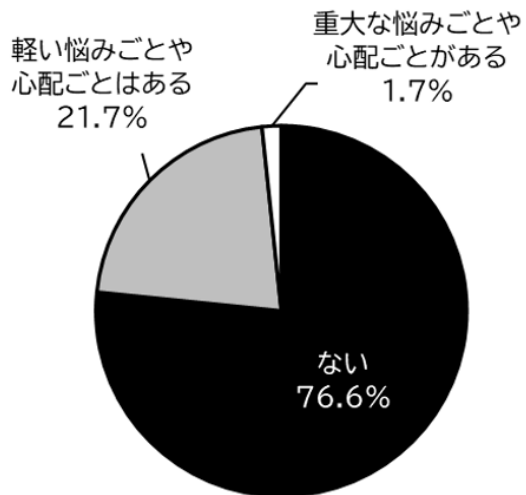
	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 6万円未満	6万円以上
永平寺	15.0%	12.4%	4.8%	5.4%	12.5%	16.1%	14.5%
小浜	1.8%	2.5%	0.8%	0.3%	1.1%	2.6%	3.4%
あわら	0.7%	0.7%	0.3%	0.1%	0.6%	0.1%	1.8%
かつみ	0.6%	0.1%			0.4%	0.7%	0.7%
計	18.0%	15.7%	5.9%	5.8%	14.6%	19.6%	20.4%

10 悩みごとや心配ごとについて－設問 33～36 関係

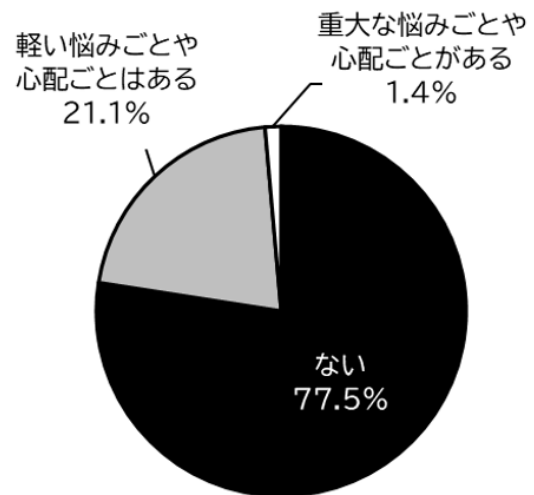
- ・悩みごとがある学部生は 23.7%(昨年度調査から△0.3%)、院生は 29.9%(△7.4%)である。
- ・キャンパスソーシャルワーカー、カウンセラーの認知度は約9割(+0.3%)である。
- ・悩みごとの相談相手で最も多かったのは「家族」で 76.4%ある。

学部生の学生生活における悩みごとや心配ごと

学部生 1,317 名

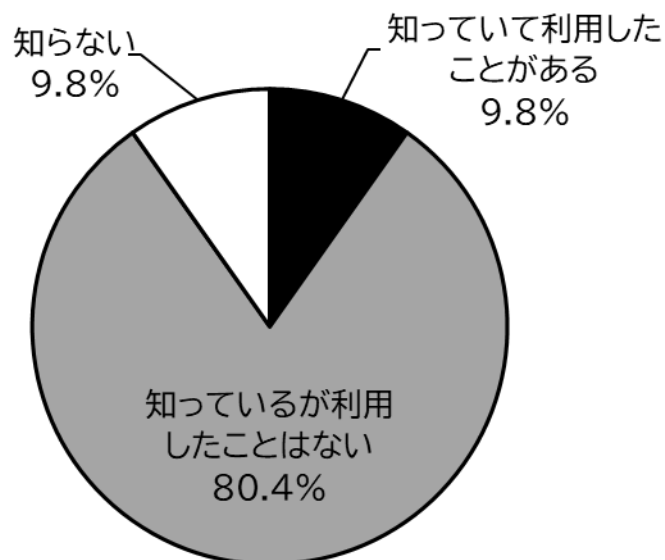


院生 71 名



キャンパスソーシャルワーカー、カウンセラーの認知度

学部生、院生 1,388 名



生活、健康面での悩みごとや心配ごとの相談相手(複数回答)

学部生、院生 1,388名、回答数 2,449件

		R7	R6
第1位	友人・先輩	75.9%	75.3%
第2位	家族	74.6%	76.4%
第3位	教員・職員	8.6%	7.9%
第4位	誰にも相談しない	6.5%	8.2%
第5位	キャンパスソーシャルワーカー、カウンセラー	3.9%	4.2%

11 就職や進学について－設問 37～41 関係

- ・学部生1・2年生の将来の進路における目標は「具体的な目標は持っていない」、3・4年生の将来の進路における目標は「民間企業への就職」が最も多い。
- ・院生は「すでに就職している」に次いで、将来の進路における目標は「民間企業への就職」が最も多い。
- ・学部生・院生ともに希望する就職や進学の地域は、県外生の場合、地域にこだわらない者が最も多く、県内生の場合、福井県内が最も多い。
- ・キャリアセンターによる支援(就職ガイダンス、企業説明会等)や個別相談について、学部3年生の約5割(昨年度調査から△12.2%)、学部4年生の約7割が利用している。

学部生の将来の進路における目標

学部生 1,317名

	民間企業への就職	具体的な目標は持っていない	公務員	医療機関・福祉施設	進学・留学	教員	就職先が決まっている・すでに就職している	起業	家業を継ぐ	その他
1年生	22.5%	35.6%	16.7%	10.5%	9.8%	3.1%		1.2%		0.5%
2年生	24.3%	41.8%	15.1%	12.2%	3.3%	1.8%		0.9%	0.3%	0.3%
3年生	45.2%	16.5%	16.5%	11.6%	7.6%	1.7%		0.3%	0.3%	0.3%
4年生	49.4%	7.3%	15.8%	11.6%	3.5%	1.5%	9.3%	1.2%	0.4%	
全体	33.5%	27.3%	16.1%	11.4%	6.4%	2.1%	1.8%	0.9%	0.2%	0.3%

学部生の就職や進学の希望地域

学部生 1,317名 うち県外出身学生 678名、県内出身学生 639名

		ない・未定	地域にはこだわらない	福井県	東海	関西	関東	石川県	富山県	長野県	その他
県外出身学生	R7	31.7%	5.6%	19.0%	10.9%	11.4%	10.5%	4.7%	1.8%	4.4%	
	R6	33.2%	4.7%	18.7%	7.5%	8.1%	12.2%	7.5%	1.3%	8.1%	
県内出身学生	R7	31.3%	55.9%	2.7%	4.7%	4.2%	0.8%	0.2%	0.2%	0.2%	
	R6	33.4%	53.5%	1.7%	3.6%	6.8%	0.7%			0.2%	
全体	R7	31.5%	30.0%	11.1%	7.9%	7.9%	5.8%	2.5%	1.0%	2.4%	
	R6	33.3%	29.9%	9.9%	5.5%	7.4%	6.3%	3.6%	0.6%	4.0%	

学部3年生 303名 うち県外出身学生 158名、県内出身学生 145名

学部4年生 258名 うち県外出身学生 133名、県内出身学生 125名

		地域には こだわら ない・未定	福井県	東海	関西	関東	石川県	富山県	その他
県外 出身 学生	3年生	27.8%	8.2%	19.0%	8.2%	13.9%	12.7%	5.1%	5.1%
	4年生	34.6%	6.8%	23.3%	6.0%	11.3%	6.8%	4.5%	6.8%
県内 出身 学生	3年生	23.4%	62.1%	4.1%	2.8%	6.2%	1.4%		
	4年生	27.2%	56.8%	2.4%	8.0%	5.4%			0.8%

希望地域に「福井県」を選んだ理由

「福井県」と回答した学部生 395名の主な意見

(県内出身学生)

- ・地元で就職したい、地元で貢献したいから、福井が好きだから(多数)
- ・実家の近くで過ごしたいから、実家から通勤したいから
- ・経済的に県外就職は難しいから
- ・奨学金返還免除制度活用のため

(県外出身学生)

- ・暮らしやすいから、環境が気に入っているから
- ・県内就職のために本学を選んだから、特定の県内企業に就職したいから
- ・仲間がいるから

院生の将来の進路における目標

院生 71名

	就職先が決まっている すでに就職している	民間企業への就職	具体的な目標は持っていない	公務員	教員	進学・留学	医療機関・福祉施設	その他
修士1年生	29.6%	40.7%	7.4%	11.1%		7.4%		3.7%
修士2年生	44.4%	33.3%	7.4%	3.7%	3.7%		3.7%	3.7%
博士1年生	40.0%	20.0%	40.0%					
博士2年生	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%			
博士3年生	80.0%	20.0%						
全体	39.4%	32.4%	11.3%	7.0%	2.8%	2.8%	1.4%	2.8%

院生の就職や進学希望地域

院生 71名 うち県外出身学生 39名、県内出身学生 32名

		ない こ 地 域 に は 未 定	福 井 県	関 東	東 海	石 川 県	関 西	富 山 県	海 外	そ の 他
県外 出身 学生	R7	56.4%	7.7%	12.8%	10.3%	5.1%	7.7%			
	R6	54.3%	11.4%	2.9%	17.1%		11.4%			2.9%
県内 出身 学生	R7	37.5%	56.3%	3.1%		3.1%				
	R6	21.9%	71.9%	3.1%						3.1%
全体	R7	47.9%	29.6%	8.5%	5.6%	4.2%	4.2%			
	R6	38.8%	40.3%	3.0%	9.0%		6.0%			3.0%

希望地域に「福井県」を選んだ理由

「福井県」と回答した院生 20名の主な意見

(県内出身学生)

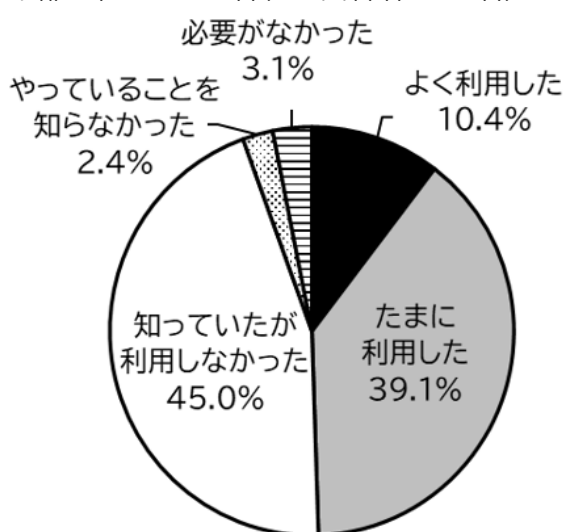
- ・地元だから、地元貢献したいから
- ・すでに福井県内で働いている

(県外出身学生)

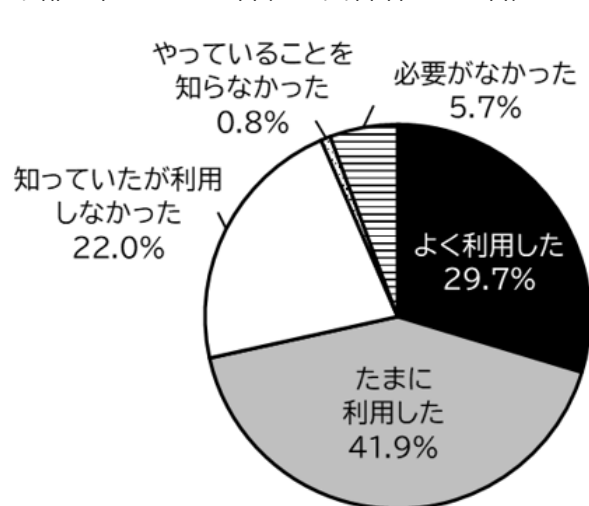
特になし

学部3、4年生のキャリアセンターによる支援(就職ガイダンス、企業説明会等)や個別相談の利用について

学部3年生 303名(うち回答者 185名)



学部4年生 259名(うち回答者 246名)



※学部4年生の集計は今年度調査より実施

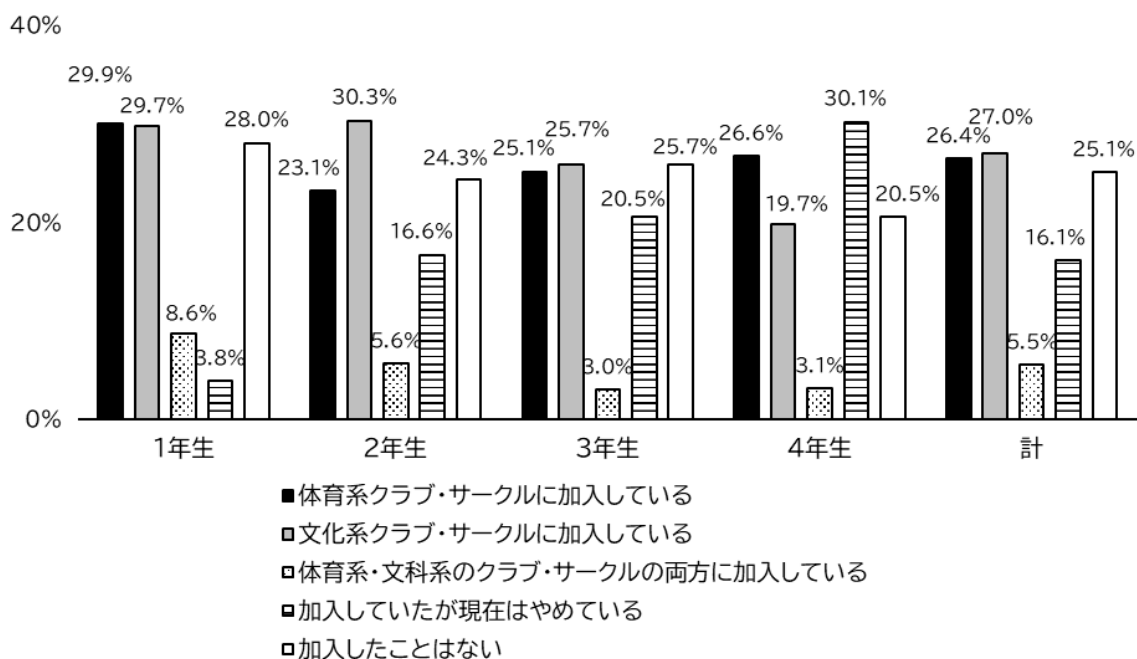
12 学部生の課外活動について－設問 42 関係

- ・学部生の約 6 割がクラブ・サークルに所属している(昨年度調査から+2.0%)。
- ・文化系クラブ・サークルの加入者は体育系クラブ・サークル加入者より多い。

学部生のクラブ・サークルへの加入状況について

学部生 1,317 名

	加入している		加入していたがやめた		1度も加入していない	
	R7	R6	R7	R6	R7	R6
1年生	68.2%	67.3%	3.8%	4.0%	28.0%	28.7%
2年生	59.1%	57.5%	16.6%	13.2%	24.3%	29.2%
3年生	53.8%	53.9%	20.5%	25.7%	25.7%	20.4%
4年生	49.4%	38.6%	30.1%	35.7%	20.5%	25.7%
計	58.8%	56.8%	16.1%	16.7%	25.1%	26.6%



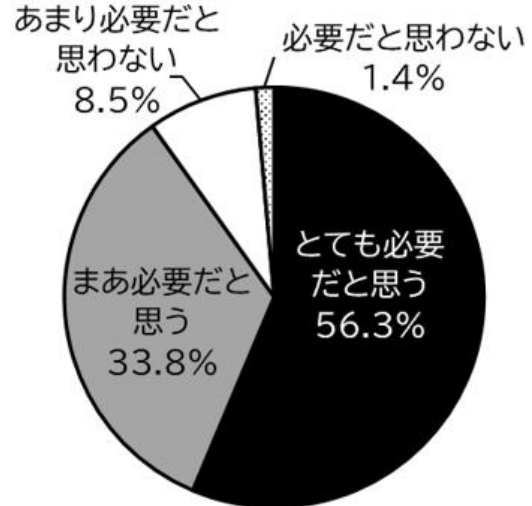
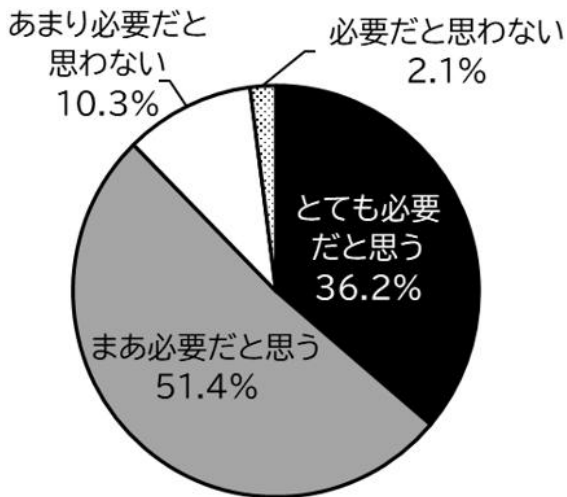
13 海外留学・研修について－設問43～51 関係

- ・学部生・院生ともに約9割が語学力の向上が「とても必要」「まあ必要」だと考えており(昨年度調査から学部生△0.3%、院生+2.1%)、そのために取り組んでいるものは、学部生は「大学の選択科目」、院生は「独学」である。
- ・ワールドカフェ、オーシャンズXの認知度は学部生が約9割、院生が約8割である。
- ・学部生の5割(+4.8%)、院生の4割(△14.5%)が「大学の海外留学・研修プログラムに参加したい(すでに参加した)」と回答した。
- ・学部生・院生ともに行きたい国・地域は、ヨーロッパが最も多かった。
- ・最も関心のある分野は、学部生が「異文化交流のための海外留学・研修」、院生が「専門分野を外国語で学ぶための海外留学・研修」である。
- ・海外研修・プログラムの期間として、学部生は「1週間～2週間程度」、院生は「1ヶ月～半年」を希望している。また、自己負担の許容範囲額として、学部生、院生ともに「10万円以上20万円未満」が最も多い。
- ・学部生の海外留学・研修に支障となることは、学部生、院生ともに「費用」が最も多い。

国際交流や就職活動のため、語学力向上は必要かどうか

学部生 1,317名

院生 71名



語学力向上の必要と思っている学生が、語学力向上のために取り組みたい(取り組んでいる)もの(複数回答)

学部生対象者 1,154名、回答 2,024件

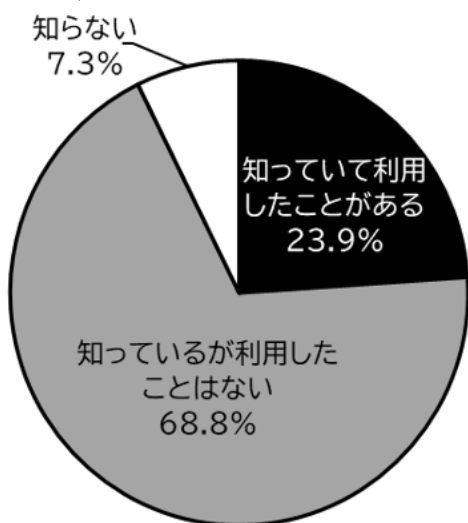
		R7	R6
第1位	大学の選択科目(R6調査は「大学の授業」)	75.5%	75.5%
第2位	独学(書籍、通信教育、語学アプリなど)	47.8%	47.3%
第3位	ワールドカフェ、オーシャンズXの利用	19.9%	14.6%
第4位	言語話者(留学生、インストラクター等)との会話	17.9%	18.1%
第5位	オンライン留学(海外の大学等の授業をオンラインで受講)	13.8%	17.0%

院生対象者 64名、回答 201件

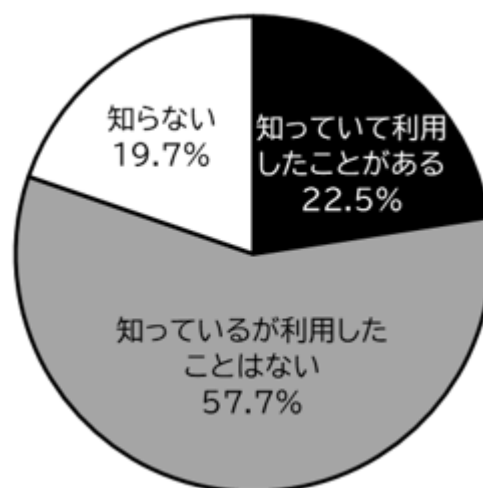
		R7	R6
第1位	独学(書籍、通信教育、語学アプリなど)	73.4%	77.8%
第2位	言語話者(留学生、インストラクター等)との会話	54.7%	63.0%
第3位	大学の選択科目(R6調査は「大学の授業」)	50.0%	53.7%
第4位	オンライン留学(海外の大学等の授業をオンラインで受講)	32.8%	33.3%
第5位	留学(オンライン留学を除く)	29.7%	27.8%

ワールドカフェ、オーシャンズXの認知度

学部生 1,317名

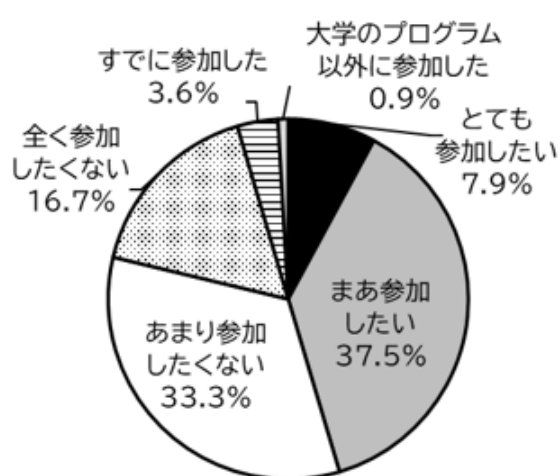


院生 71名

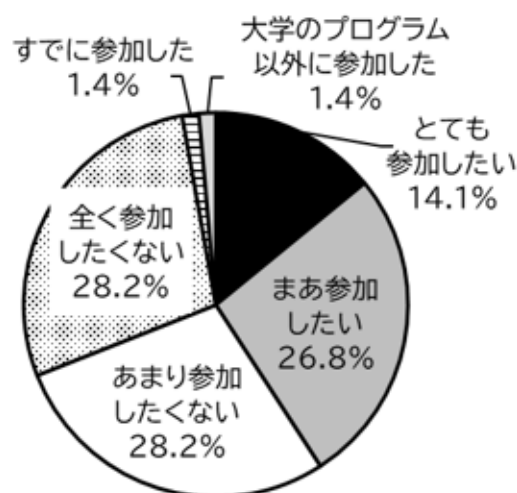


大学の海外留学・研修プログラム(在学中に大学が提供するプログラム、学務や研究科、ゼミ等で企画するものを含む)への参加意向

学部生 1,317名



院生 71名



海外留学・研修に「とても参加したい」「まあ参加したい」「すでに参加した」「大学のプログラム以外に参加したい(すでに参加した)」と回答した学生の行きたい国・地域
学部生対象者 658名、院生対象者 31名

	R7		R6	
	学部生	院生	学部生	院生
ヨーロッパ	43.8%	48.4%	39.2%	36.8%
東アジア	18.2%	6.5%	—	—
北米	16.1%	41.9%	23.3%	28.9%
オセアニア	11.2%	3.2%	12.2%	10.5%
東南アジア	9.1%		—	—
南アジア	0.8%		—	—
その他	0.8%		1.4%	2.6%
計	100%	100%	100%	100%

※昨年度調査は「アジア」で一項目(学部生 23.9%、院生 21.1%)、今年度調査の「東アジア・東南アジア・南アジア」の合計は学部生 28.1%、院生 9.4%

海外留学・研修に「とても参加したい」「まあ参加したい」「すでに参加した」「大学のプログラム以外に参加したい(すでに参加した)」と回答した学生の関心がある海外留学・研修の分野
学部対象者 658名、院生対象者 31名

	学部生	院生
異文化交流のための海外留学・研修	43.0%	16.1%
語学力向上のための海外留学・研修	37.4%	35.5%
国際協力・ボランティア体験のための海外留学・研修	10.3%	3.2%
専門分野を外国語で学ぶための海外留学・研修	7.8%	41.9%
海外インターンシップに参加するための海外留学・研修	1.5%	3.2%
計	100%	100%

海外留学・研修に「とても参加したい」「まあ参加したい」「すでに参加した」「大学のプログラム以外に参加したい(すでに参加した)」と回答した学生の希望する海外留学・研修期間、自己負担額(許容範囲)

学部対象者 658名

	10万円未満	20万円未満	30万円未満	40万円未満	40万円以上	計
1週間	10.0%	7.4%	1.1%	0.3%	0.2%	19.0%
2週間	10.9%	18.4%	3.3%	0.3%	0.5%	33.4%
1ヶ月	7.0%	10.9%	7.3%	2.6%	0.2%	28.0%
半年	2.1%	2.9%	2.9%	1.8%	0.9%	10.6%
1年	1.1%	2.0%	1.1%	0.9%	2.0%	7.0%
1年以上	0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	0.8%	2.0%
計	31.3%	41.9%	16.0%	6.4%	4.4%	100%

院生対象者 31名

	10万円未満	20万円未満	30万円未満	40万円未満	40万円以上	計
1週間	9.7%	3.2%				12.9%
2週間	3.2%	16.1%	3.2%			22.6%
1ヶ月	6.5%	12.9%	6.5%	3.2%		29.0%
半年		3.2%	6.5%	3.2%	3.2%	16.1%
1年	3.2%			6.5%	3.2%	12.9%
1年以上			3.2%		3.2%	6.5%
計	22.6%	35.5%	19.4%	12.9%	9.7%	100%

海外留学・研修に支障となること(複数回答)

学部生 1,317名、回答数 3,638件

		R7	R6
第1位	費用(または費用に見合った効果が期待できない)	82.9%	81.8%
第2位	語学力	68.2%	71.6%
第3位	海外生活への治安(治安、衛生面など)	52.5%	57.8%
第4位	コミュニケーションへの不安(語学力を除く)	42.1%	45.4%
第5位	卒業への影響(卒業に必要な単位の取得が不安、集中講義・実習などで余裕がないなど)	15.3%	15.0%

その他自由意見:食事、エスノセントリズム、日本でやりたいことがある、パスポート・ビザ取得 など

院生 71名、回答数 165件

		R7	R6
第1位	費用(または費用に見合った効果が期待できない)	73.2%	76.1%
第2位	語学力	56.3%	56.7%
第3位	海外生活への治安(治安、衛生面など)	40.8%	49.3%
第4位	コミュニケーションへの不安(語学力を除く)	21.1%	26.9%
第5位	卒業への影響(卒業に必要な単位の取得が不安、集中講義・実習などで余裕がないなど)	12.7%	13.4%

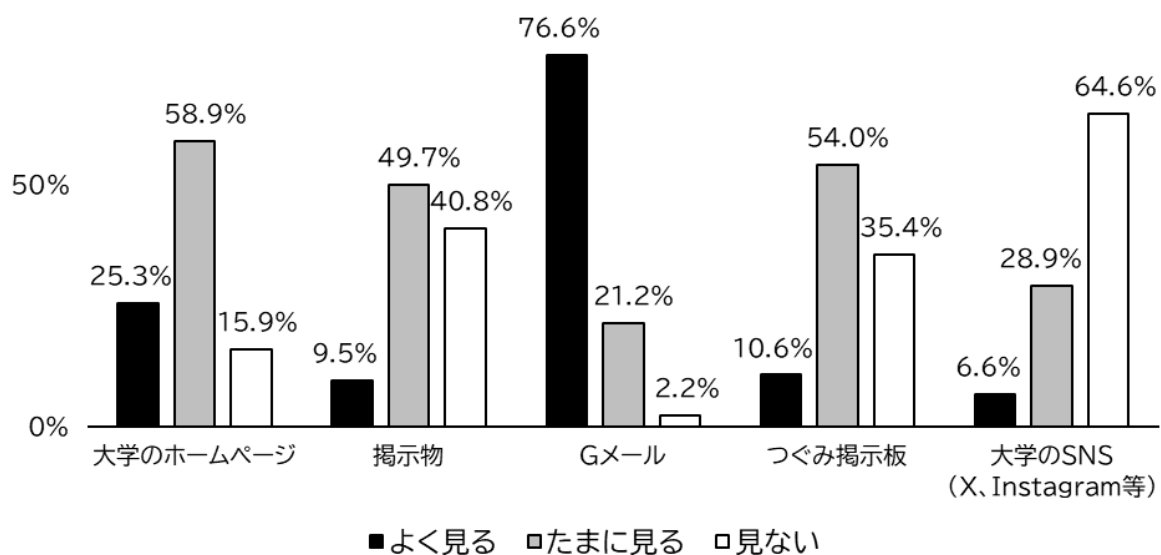
その他自由意見:家庭・家族、仕事(社会人) など

14 大学からのお知らせについて－設問52 関係

最もよく見るのは「Gメール」、最も見ないのは「大学のSNS」である。

学部生、院生 1,388 名

100%



15 学生カウンターや窓口の対応—設問 53、54 関係

・「満足している」、「まあまあ満足している」は合計で 92.7% (昨年度調査から△2.4%) である。

学部生、院生 1,388 名

